

国際協力イベント

10月6日の「国際協力の日」に合わせて開催された国際協力イベントに参加し、国連ハビタットと日本ハビタット協会の活動を広報しました。

グローバルフェスタ JAPAN 2015

(10/3～4：お台場)

お台場での初開催となりましたが、多くの来場者がブースに立ち寄られました。今年も外貨コイン仕分けは好評で、特に2日目は子どもが多く参加し、途中で仕分けするコインがなくなるほどでした。活動報告コーナーでは世界のトイレ事情と現在ケニアで実施しているトイレ建設事業について報告会を行いました。

よこはま国際フェスタ2015

(10/10～11：横浜象の鼻パーク)

毎年立ち寄ってくださるご家族やグローバルフェスタ JAPAN で参加されたご家族などでブースは賑わいました。家に残ったままでいた外貨コインを持ってきて下さる方もいました。国連ハビタットと日本ハビタット協会の活動を広報する良い機会となりました。

地球市民どんたく2015

(11/14～15：アクロス福岡交流ギャラリー2F)

ケニアで実施しているムンザツィ学校のトイレ建設プロジェクトの写真展示を行いました。トイレクイズやネパールのシェルター費用クイズも行い、クイズを通して、日本ハビタット協会の活動を知っていただく機会となりました。



地球市民どんたく2015の様子

事務所移転

日本ハビタット協会の事務所は、2001年の設立以来、福岡県のご厚意でふくおか会館に置いていましたが、ふくおか会館の建て替えに伴い、同じ千代田区にある都道府県会館5階の福岡県東京事務所分室に2015年9月30日移転しました。東京メトロ永田町駅から直結となり、たいへん便利なところです。福岡県と県関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

移転により業務をさらに効率化し、みなさまのご期待と思いに応えられるよう事務所一同張り切っております。なお、ボランティアデーの活動は、千代田区神田鍛冶町で行います。

外貨コイン仕分けボランティア

毎月第1、第3火曜日の午後1時～4時に外貨コイン仕分けボランティアを実施しています。毎回10名程のボランティアのみなさんが楽しく参加しています。コインは国ごとにそれぞれの特色があり、ちょっとした旅行気分を味わいながら国際協力をすることができます。初めての方でも大歓迎ですので、ぜひ参加して下さい。電話にて受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

活動場所 東京都千代田区鍛冶町2-8-6 ニューサンビル5階 (株)たんぼぼ農国会議室

※ JR および地下鉄神田駅東口から徒歩約5分。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。

日本ハビタット協会公式 Facebook

日本ハビタット協会公式 Facebook ページ「笑顔あふれるまちづくり」がオープンしました。事業の進捗状況だけでなく、さまざまな情報をアップしていきますので、ぜひ「いいね!」を押してフォローして下さい。

★★ **ご協力いただきありがとうございます** ★★ 2015年6月1日～2015年11月 (敬称略・順不同)

ご寄付

国際ソロプチミスト 熊本一さくら・玖珠・杵岐・佐賀一東部、(有)岩田時計店、ふくおか会館、福岡空港ビルディング(株)、熊本空港ビルディング(株)、(株)新橋スタンプ商会、成田国際空港(株)、関西国際空港(株)、東京国際空港ターミナル(株)、中部国際空港(株)、株式会社国健鉄筋工業、松田都市開発(株)、壺山建設(株)、森田建設(株)、喫茶シャギー、すぎた まりこ、はまさき ゆうこ、ハート薬局、稲子谷 三枝子、下川 弘、笠 留美子、鎌滝 たみ子、岩本 妙子、肉の吉野、久保庭 啓一郎、宮口 則子、宮田 秀子、原田 義信、錫切 順子、小林 英俊、松本 賢次、森 多賀子、石井 清俊、石原 信雄、赤城六本木診療所、丹羽 浩康、中村 勇、中武 喜久代、長島 定則、長島 道子、津城 歩、(株)大林組九州支店、コヴィディエン ジャパン(株)、田中正昭、田野井 弥生、藤本 貴也、白須 光美、富取 善彦、日本メトロニック(株)、福迫 隆、本田 賢正、木下 ハツ子、鈴木 有、六波羅 昭、中井 禮子、光武 耕一郎、しろうず しんや、丸井 聡、兼平 剛志、青野 乃舞子、武田 恒男、珈琲店ストーンズ、樋口 謙一郎、堀 保子、久山 純弘、橋本 久美子、伊木 常昭、マリ・クリスティーヌ、山本 博子、篠原 大作、藤田 美江子、大木 京子

切手・書き損じハガキ等 丹羽 浩康、浦 澄子

ご協力いただいた方及び団体

ニューサンノー、(株)新橋スタンプ商会、SoftBank モバイル、ハビタット福岡市民の会、地球環境基金、ちよだボランティアセンター、シトリックス・システムズ・ジャパン(株)、認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター、(有)マレイアソシエイツ、岩手大学、シャンドゥ ミュリエ、(社)日本フィランソロピー協会、ジャパングビング、三井物産(株)、(公財)三菱商事復興支援財団、あおぞら銀行、(株)アイ・コミュニケーションズ、(株)ジェーシービー、(株)たんぼぼ農園ふるさと研究所、千代田鍛冶町郵便局、ハビタットフレンズ東京・名古屋・仙台・九州・コース・ハワイ、塚越 勝美、長谷川 隆徳、小泉 邦夫、佐藤 昭二、牟田 慎一郎、丹波 佐和子、藤村 美保、林 富子、今井 杏奈

コイン仕分けにご協力いただいた企業・学校

ヒノマル(株)本社・福岡本社、積水成型工業(株)大阪本社、(株)ジェーシービー、シトリックス・システムズ・ジャパン(株)、全国労働者共済生活協同組合連合会、日本メトロニック(株)、コヴィディエン ジャパン(株)、あわら市立金津中学校

発行：認定NPO法人日本ハビタット協会(発行責任 伊木 常昭／編集責任 山本 博子)

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館5階 福岡県東京事務所分室内 TEL／FAX：03-3512-0355
E-mail：info@habitat.or.jp／URL：http://www.habitat.or.jp

デザイン・イラスト：母袋秀典
2016年1月発行



JAPAN HABITAT
ASSOCIATION

HABITAT
まちづくり通信 No. 28

.....日本ハビタット協会.....

女子生徒に清潔なトイレを！

ケニア西部のムンザツィ学校に男子トイレと水浴び場が完成しました。トイレだけでなく水浴び場もできたことで、手洗いや体を洗えるようになりました。衛生教育を通して、トイレの後で手を洗うだけで病気になるリスクを半分に減らすことができると知った生徒達は、きちんと手洗いをするようになりました。みなさまのあたたかいご支援に心より感謝いたします。

2015年11月からは女子トイレの建設が始まりました。女子生徒にとって清潔なトイレはなくてはならないものです。トイレがないことで、女子生徒は心身ともに大きなストレスを抱えています。特に生理をむかえた子は、学校を休まざるをえなくなります。定期的に学校を休むうちに、次第に勉強についていけなくなり、最終的に学校をやめてしまいます。トイレがないということは、子どもから学ぶ機会もうばってしまうことでもあります。

女子トイレが完成すると、トイレがなくて休みがちだった女子生徒も安心して学校に通えるようになり、勉強に励みながら楽しい学校生活を送れます。学校で多くのことを学ぶことで、より良い未来への道を歩んでいけるようになります。

建設工事には生徒達も参加しています。男子生徒だけでなく女子生徒も重いレンガや砂を運ぶのを積極的に手伝っています。大人だけでなく子どもも参加するハビタットらしいコミュニティづくりが進んでいます。

女の子たちが楽しい学校生活を送れるよう トイレ建設にご協力ください

● 郵便振替 00150-3-568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口

※ 振込用紙に「ケニア学校支援」とご記入ください。

● クレジット・カード(VISA、Master Card)でもご寄付いただけます。

日本ハビタット協会のホームページより手続きをお願いします。 ▶ www.habitat.or.jp

写真上：自分達で学校環境を良くしようと頑張る生徒
写真下：女の子も重い資材運びます

空飛ぶトイレ

マリ・クリスティーヌ

「空飛ぶトイレ」をご存知ですか？空を飛ぶといっても飛行機のトイレのことではありません。

2001年にケニアの100万人が住む世界最大のスラム「キベラ」を訪問しました。地面のあちこちが泥で、転ばないように足元を見て歩いていて私に、案内してくださった方が「上を見ながら歩いてください」と声をかけてくれました。理由を聞いてみると、スラムの家々にはトイレがないので、部屋の中でビニール袋に用を足して縛り、それを窓から飛ばす「フライングトイレ」が飛んでくるとのこと。驚いてしまいました。

幸い私は「フライングトイレ」にぶつかることはなかったのですが、スラムの暮らしの大変さをしっかりと認識することが出来ました。

その後、2011年にもキベラを訪問しましたが、そこでは日本の援助で大きな共同トイレが出来ていました。トイレの2階が台所になっていて、排せつ物を腐敗させてできるメタンガスを利用して料理を作れるという、エコで画期的なものでした。素晴らしいトイレですが、スラムのすべての人が利用するには数が足りません。

トイレを設置することは、病気にかかる子どもや、学校をやめざるを得なくなってしまう子どもたちを減らしていくことにつながります。一刻も早く「空飛ぶトイレ」がこの地球上に存在しない世の中を作りだしていきたいです。



世界中の人々がトイレを使えるように



このようなトイレには危険がいっぱい

水と人々の暮らしを守る植林 in ラオス

